
新生架空兵器の館

重巡とね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新生架空兵器の館

【Zコード】

Z7697W

【作者名】

重巡とね

【あらすじ】

前作の架空兵器の館が終了してから10日・・・
ここに新たな架空兵器の館が開館致します
新生架空兵器の館、館長重巡とね
従業員、艦魂達と人間

零式 怪しい館に突入（前書き）

前作品の架空兵器の館から10日、新たな架空兵器の館がここに開館する

零式 怪しい館に突入

「」は、零島諸島

架空連合艦隊の拠点がある諸島である

この諸島にある最北端の島、第220番島、空島に戦艦が4隻停泊していた

この戦艦の名前は備前型の戦艦備前、備中、備後、備讃の4隻である

？？×4

「」・・・・・・・・・・

そこへ4人の士官服を着ている少女が上陸した

ショートヘアで腰に短剣を付けているのは戦艦備前の艦魂、備前

ポニーテールで背中に太刀を背負っているのは戦艦備中の艦魂、備中

腰までのポニーテールで眼鏡を掛け、両腰に南部拳銃をホルスターに
いれているのは戦艦備後の艦魂、備後

ショートヘアで背中に九九式歩兵銃着剣状態を背負っているのは
戦艦備讃の艦魂備讃である

備前

「で、この空島で作者は一体何をするつもりかしら？」

備中

「さあ～私には分からぬなあ～」

備後

「・・・」Jの島は兵器貯蔵庫と兵器部品開発工場と怪しい洋館があるだけですよ」？

備讚

「まあ、取り合えず怪しい所から探つて行くのだ～」

そう言つて4人が向かつたのは朽ち果てかけた洋館である
この洋館は架空連合艦隊がこの零島諸島に基地を作る前からJの島
に建つっていた洋館である

この島に係留する者は時々この洋館に肝試しをやり行くが帰つて來
た者は数日以内に必ず
病死や事故死をして殉職している者が多い

備前

「Jの島が魔窟の洋館ね・・・」

備中

「だ、大丈夫かな・・・」

備後

「・・・ある意味私達もお化けみたいな存在ですから大丈夫ですよ
備中姉さん」

備讚

「でも・・・やつぱり怖いのだ・・・虫とか多そだから火炎放射

器の中に殺虫剤を入れるのだ」

そう言ってどこから取つて来たのか、防護服に火炎放射器の中に殺虫剤を入れている備讃が言った

「ちょ、備讃・・・虫だけにそれだけの重装備はいらないんじやない？」

備讚

「何いっているのだ備前お姉ちゃん！ハエ一匹に対し殺虫剤のスプレー缶を半分以上使うの

は当たり前のだ

備前・備中・備後

全力で備讃の言葉を否定する全員だった

因みに作者の場合はハエ1匹に対し殺虫剤スプレー缶1本丸ごとつかいます（キリッ

備前

「いや、いやあ行くわよ・・・」

備前達は恐る恐る洋館の中に入つて行つた

備中

「や、やつぱり怖いね・・・」「

備後

「・・・（ガタガタブルブル）」

備讚

「か、懷中電灯をもつてくれればよかつたのだ・・・」

全員が歩いて奥え込んだその時！

？？

「うう・・・だあ～れえ～だあ～・・・」！

備前・備中・備後・備讚

「～～～～～ああああああああああああああああああああああああああああ～～」

～～～～～～～～～～

ドタン！ガタン！バーン！ベキヤ！

突然のうめき声に備前達は大声で驚いてその場で折り重なつてこけた

？？

「お、おい大丈夫か」！？

次回へ

零式 怪しい館に突入（後書き）

「」意見「」感想お待ちしております

一式 戦艦備前型（前書き）

新生架空兵器を出しします――――――

架空兵器一発目レッジゴー――――

一式 戰艦備前型

備前達が空島にとねを探しに行つて10日後・・・

9月22日
れいじゅじょじゅこわせんといれいしほ
零島諸島一一番島零島

突如この諸島に警報がけたたましく鳴つた

架空連合艦隊旗艦戦艦紀伊 かくうれんこうかんたい きかんせんかんさい きい

の艦橋に一人のセミロングで腰にナイフを下けている士官服を着た少女がいた

彼女の名前は紀伊、^{きい}架空連合艦隊の現旗艦の艦魂である

紀伊

「敵はなんなの」！？

そう言って双眼鏡を見る紀伊、その先に見えるのは大型の艦が4隻・

よこいちもんじたいけい
横一文字隊形で、すらりと接近してきている

紀伊

「大型の所属不明艦が4隻接近中！沿岸の自走砲部隊と対艦砲、艦船部隊は戦闘準備！」

航空機部隊は緊急発進して「！－！」

？？

「その必要はないぜ紀伊」

紀伊

「誰ですか」「！？」

紀伊の後ろで突然、声がして紀伊が後ろに振り向いた、そこに居たのは・・・

紀伊

「あ、作者さん！？そ、それに備前姉さん達も「！？」

紀伊の後ろに居たのは架空連合艦隊司令長官であつてこの作品の作者である重巡とね

と備前、備中、備後、備讃の5人であった、備前達は何故かマントをはおつている

紀伊

「さ、作者さん何処に行つてましたのですか？！それより所属不明の大型艦が4隻こっちらに向かって来ますよ」！？

重巡とね（以降作者）

「あの新型戦艦の事か」？

紀伊

「し、新型戦艦」！？

作者

「ああ・・・新型戦艦備前、備中、備後、備讃の4隻だ」――！

武装	乗員	性能	戦艦備前型
2400人	2400人	基準排水量	8万8420トン
装甲	装甲	全長	280メートル
装甲	装甲	全幅	40メートル
速力	速力	航続距離	40ノット（時速約72キロ）
装甲	装甲	甲板	16ノットで1万6640海里
24センチ舷側	24センチ舷側	24センチ舷側	48センチ

50センチ連装速射主砲	4基	(前部2基 後部2基)
80センチ大型追尾式対艦墳進弾	4連装	16基
20センチ長距離中型追尾式対空墳進弾	8連装	42基
10センチ小型追尾式対潜墳進弾	12連装	4基
20センチ巡航墳進弾	2連装	8基
8センチ連装速射高角砲	16基	
30ミリ近接防御	6連多砲身機関砲	16基
20ミリ近接防御	6連多砲身機関砲	16基
16ミリ連装両用機関銃	10基	
航空機8機		
95式艦上偏航翼戦闘偵察機海鳥	4機	
艦上戦闘偵察爆撃機烈風	26型4機	
同型艦 備前 備中 備後 備讃		

補足

航空兵器の館の戦艦備前型を改良した新型戦艦

前の備前型は41センチ3連装主砲塔載だったが、この艦は50センチ連装主砲4基を搭載している

高角砲も速射性を上げる為、前の10センチ高角砲から8センチ高角砲に換装されている

追尾式墳進弾を大量に搭載していて、対潜攻撃も行なえる性能についている

対空面に関してはもはや最強と言つてよいほど優秀である

架空連合艦隊が解散した今、新たな架空連合艦隊が発足される・・・

作者

「いや・・・上層部から『旧式装備を全てを新型装備に換装しろ』って言われて

空島で新型戦艦を建造していたんだ・・・そして、備前達をその新型戦艦に転移してもらつたんだ」

紀伊

「で、備前姉さん達はなんでマントをはおつているんですか」？

「ふふふ・・・よべぞ聞いてくれました！備前」！――！

備前

「分かつてゐるわよ！」

そう言つて備前達は、はおつているマントを一気に放り投げた

紀伊

「つん！？！？！？ななな、なんですか備前姉さん達その格好は！？！？」

備前達の格好は上は普通の士官服だが下がいつも長ズボンがスカートになつてゐる

因みに、備前、備中、備讃がミニスカートで備後はロングスカートである

作者

「いや～備前達に新しい架空連合艦隊を作るって話したら服装も変えたいって備前達から意見を聞いたり
他に前々から駆逐艦や潜水艦の艦魂からスカートにしたいって言わ
れていたから今回、実行しました」

備前

「それに、この士官服の後ろには架空連合艦隊の紋章がはいつてい
る、前の士官服より動きやすいわ」

備中

「それに武装もいろいろ取り付けられるし・・・」

備後

「・・・春夏秋冬^{はるなつあきひゆ}全て対応できますし・・・」

備讃

「ズボンの方がいいって人はズボンを履いてもいいのだ」！

紀伊

「へえ～・・・そなんですか・・・って一体、空島で何があつた
んですか」！？！？

作者

「その理由は話すから、架空連合艦隊全艦艇、全兵員、全艦魂を招
集しろ」！！

紀伊

「うよ、了解です」――――

次回へ

一式 戰艦備前型（後書き）

「意見」「感想お待ちしております

一式 高高度防空戦闘機櫻花

架空連合艦隊現旗艦戦艦紀伊、かんていはくち艦艇迫地にて・・・

架空連合艦隊現旗艦戦艦紀伊の甲板には紀伊の乗員、と艦魂達が集まっていた

戦艦紀伊の周りには架空連合艦隊の全艦艇が集まっていた

周りがざわついている所に士官服に身をまとったとねが現れた
後ろには戦艦備前型4隻の艦長4人と艦魂4人がとねの後ろに並んだ

とね

「あーあー・・・諸君! 突然招集してしまってすまない・・・先日
の架空連合艦隊の

解散の事は聞いているな? その事で今日は集まつてもうつた」!

そう言つと全員が少しざわめきだした

水兵

「長官! 架空連合艦隊は本当に解散するんですか」!?

士官

「もし解散した場合は我々兵員や艦魂はどうなるんですか」!?

初音

「私達は解体されるんですか」!?

綾瀨

「それとも何処かに売り飛ばすつもりですか」！？

兵員や艦魂たちが一誠に発言してきた

作者の声で全員黙つた・・・

高度度防空戦闘機桜花

性角

14メートル

はつとうけい
発動機
一式V型直立十一気筒水冷発動機1基
まいすう にしき ぶいがたちょくじゅう じゅう にしきとうすいれい
プロペラ枚数 4×2 (一重反転プロペラ装備)
ぱくとうめい

最高速度 800キロ
航続距離 増設 30000キロ

実用上昇限度 15000メートル

武裝 乗員
・ 爆装 一
名

38/11リ機関砲2基 (左右翼付け根1基ずつ)

30ミリ機関砲4基
20ミリ機関砲2基
(左右翼内2基ずつ)
(機関前面2基)

8センチ空対空墳進弾16発（左右翼8発ずつ）
60キロ空対空炸裂爆弾8発（左右翼4発ずつ）

補足

架空兵器の館の特殊戦闘機桜花を新設計した、新型戦闘機前の桜花は特殊攻撃機から戦闘機に改良しただけだが、この桜花は水冷発動機を搭載している

二式発動機は3000馬力を発揮する優秀な発動機である
プロペラは4枚の一重反転プロペラを採用している

この桜花は高高度防空を目的として開発している

外見は旧日本軍の未完成高高度戦闘機『キ94』を

参考にしている、設計も『キ94』基本設計として開発している

とね

「・・・・架空連合艦隊は解散した・・・だが、この戦艦紀伊前方にある新型の備前型を見ろ」

そう言つと全員が戦艦紀伊の前に停泊している備前型4隻を見た

とね

「何故、架空連合艦隊が解散と言られて、新型の戦艦を作ったのか・
・それは！」

現在の架空連合艦隊の全ての戦闘艦艇、戦闘航空機、戦闘車輌を改良して

新しい架空連合艦隊を設立する・・・架空連合艦隊は現時点を持つて解散と同時に、

新しい架空連合艦隊・・・新生架空連合艦隊をここに設立する」――

兵員・艦魂

الكتاب المقدس

備前

新生架空連合艦隊はこれより任務に移ります！」

備中

事！」

備後

「・・・兵員の皆さんの部屋には新しい制服を置いて置きましたのでそれに着替えて通常任務についてください」

備讚

「艦魂の全員も各自の部屋に新しい制服を置いているのだ」

作者

「各員！新生架空連合艦隊は今始動した！これより前架空連合艦隊の兵器をすべて改裝する整備部隊、工作部隊、補給部隊はすぐに220番島に向かい航空戦艦琉球型の2隻と一式対空戦車と

1式自動二輪車の改装準備を始めろ！

補給部隊・工作部隊・整備部隊

「「「りよ、了解」」」――――

備前

「琉球、蝦夷もすぐに向かいなさい」

琉球・蝦夷

「「「りよ、了解」」」――――

9月25日・・・今日、ここに新生架空連合艦隊が設立された

次回へ

一式 高高度防空戦闘機 桜花（後書き）

次回から普通に架空兵器を紹介させてもらいます

ご意見、ご感想お待ちしております

三式 航空戦艦琉球型

零島諸島第142番島丹島

紀伊

「しかし・・・新生架空連合艦隊になつたのはいこですよナゾ・・・やる事は一緒ですね」？

やつて備前に話す紀伊、ちなみに服装は長ズボンのままである

備前

「まあね、名前と兵器を改良したり新造したりするだけだからやる事はほゞかわりないわよ」？

紀伊

「所で・・・空島で何があつたんですか」？

備前

「ああ、それはね・・・」

作者

「おー、お前ら琉球と蝦夷の新造艦が出来たぞ

備前が言おつとした時に作者が現れて備前と紀伊は作者に付いて行つた

航空戦艦琉球型

性能

基準排水量 8万4680トン 満載 10万8680トン

全長 360メートル (飛行甲板 160メートル)

全幅 38メートル (飛行甲板 最大幅 40メートル)

速力 40ノット (時速約72キロ)

航続距離 16ノットで2万2240海里

装甲 甲板 24センチ 舷側 46センチ

乗員 3600人 (航空要員含める)

武装

46センチ三連装速射主砲 2基 (前部2基)

16センチ三連装電磁副砲 1基 (前部1基)

16センチ大型追尾式対艦墜進弾発射機 4連装16基

10センチ小型追尾式空対空墜進弾発射機 12連装8基

10センチ小型追尾式対潜墜進弾発射機 12連装8基

8センチ速射高角砲 16基

30ミリ近接防御 8連多砲身機関砲 48基

20ミリ近接防御 8連多砲身機関砲 48基

16ミリ両用機関銃 28基

電磁力タバート 2基

航空機 60機

95式艦上偏光翼戦闘偵察機 海鳥 10機

艦上戦闘偵察爆撃機 烈風 26型 30機

艦上戦闘機紫電	71型10機
艦上回転翼戦闘機忍	24型10機
同型艦	
琉球	
蝦夷	
長門	
陸奥	
八雲	
出雲	

補足

航空兵器の館の航空戦艦琉球型と航空戦艦長門型を結合して完成した新造戦艦

前の琉球型と長門型の主砲は42センチだったが新造と同時に主砲口径を46センチにあげて、

攻撃力を上げ高角砲、機関砲、機関銃なども備前型と同じ物に換装している

尚、副砲は電磁投射機を搭載して威力を上げている

飛行甲板は？字型の飛行甲板を採用して、航空機を素早く空中展開が出来るようしている

航空機格納庫はは三段式になつており、
上段、中段は航空機係留場と武装塔載場になつており、下段格納庫
は修理施設になつてている、前の琉球型は同型艦は一隻だけだったが、
長門型も四隻も含めて六隻になつてている

紀伊

「・・・長門型の4隻も琉球型に取り入れましたか」

作者

「航空戦艦は一つの型に擁する」と考えてこうなつた

備前

「さてと・・・琉球に蝦夷、もつたいぶらないで早く出できなさい」

そう備前が言うと作者の後ろから琉球と蝦夷の二人が出て来た

琉球

「新生架空連合艦隊、航空戦艦琉球・・・」

蝦夷

「新生架空連合艦隊、航空戦艦蝦夷・・・」

琉球・蝦夷

「『ただいま』に着任致しました」「――！」

そつ言つてその場で敬礼をする一人

服装は士官服をマントのように羽織つており、ロングスカートを履いている

琉球は右腰に大型リボルバー、コルトバイソンをホルスターから下げていて、

蝦夷は左腰にドイツ製の拳銃、P-38をホルスターから下げていた

紀伊

「琉球姉さんと蝦夷姉さんもスカート派だつたか・・・」

備前

「まあ圧倒的にスカートにしてほしつて人が多かつたからね～」

作者

「服装は自由だつて言つたけど」？

琉球・蝦夷

「「元しても体が軽いよ」」――・

作者 「そりゃ あ船体を変えたから軽いも当然だ」――・

紀伊

「で、次回は何をするんですか」？」

作者

「次回は戦闘車両を哨戒します」

備前・紀伊・琉球・蝦夷

「「「それでは皆わんまた次回でお会いしまじょう」」」――・

次回へ

二二式 航空戦艦琉球型（後書き）

「ご意見」「ご感想お待ちしております

四式 4式機動戦車メル（前書き）

諸事情によりぐだぐだ話は無しでお送りします

四式 4式機動戦車メル

作者

「早速ですが始めます」

4式機動戦車メル

性能
全長 10メートル

全幅 4メートル

全高 3メートル

装甲 砲等部（複合装甲装備）8センチ

車輛部（増加装甲、爆発反応装甲装備）12センチ

重量 60トン

エンジン 4式水冷式V型直立8気筒ディーゼルエンジン1基

最高速度（整地）80キロ

行動距離 540キロ

乗員 4名

武装

12センチ単装滑空砲 1基または

10センチ単装ライフル砲 1基

16ミリ連装旋回機関銃 1基

8ミリ単装旋回機関銃 1基

8ミリ単装固定機関銃 2基（主砲軸）

90ミリ10連装煙幕墳進弾発射機 2基

追加装備

データーブレードまたは、地雷処理装置を装備

補足

新生架空連合艦隊

陸戦隊の新型戦車

外見は陸上自衛隊の10式戦車と

イスラエル軍の戦車メルカバを参考に開発しており外見もメルカバに似せて作っている

この戦車は機動力と人員の生存力を上げているが装甲も多彩に搭載しているので頑丈に作っている

それとこの戦車は空挺戦車としても活用できるので、活躍が期待されている

機関銃は対空用だが殆ど地上の防護処置として作られている、（現在の戦車も同じ）

旋回機関銃は自動と手動に切り替えるタイプのを新設計して搭載している

作者

「ではこの辺で・・・次回は航空機をやります」

次回へ

四式 4式機動戦車メル（後書き）

「」意見「」感想お待ちしております

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7697w/>

新生架空兵器の館

2011年11月12日07時18分発行